

グループ討議	事前課題	特別な持ち物
×	×	×

三国間貿易における書類作成の実務と貿易関係証明

講座時間

10:00～16:00 (1日間)

講師名

中矢一虎法務事務所 (司法書士・行政書士) 代表 中矢 一虎 氏

対象

貿易実務担当者 ※主に実務経験1年以上の方、または東商貿易実務講座〔基礎編〕の修了者

ねらい

- ・ 三国間貿易・仲介貿易において、取引上留意すべきポイントを解説します。
- ・ 輸出者、輸入者、仲介者の三者の立場とモノ・カネの流れを整理し、三国間取引に必要なインボイスや契約書などの書類作成実務と決済まで考えた取引上の注意点を演習を通して学びます。
- ・ 貿易関係証明を利用するための基礎知識を身に付け、その証明を活用した取引の方法を解説します。

講座カリキュラム

I 「三国間貿易」とは何か

- ③日本側での事務手続き
- ④日本側での事務手続き (インボイス)

II 仲介貿易三国間取引を行う理由

1. 仲介者の利益確保
2. 事業の更なる国際化への対策 (ただし 移転価格税制に要注意)
3. 商品の製造場所分散による国際調達が多様化
4. 従来型商社活動による商品調達のグローバル化

V 仲介貿易を除く三国間取引代理

- (1) 売契約書
- (2) 代理店契約書

III 仲介貿易の業務に関するポイント

1. 日本企業が荷送人の場合
2. 日本企業が仲介者の場合
3. 日本企業が荷受人の場合

VI 原産地証明書等の貿易関係証明書

1. 生産者や輸出者の自己証明による原産品申告書
2. 一般 (非特惠) 原産地証明書
(a) 仲介貿易 (b) 再輸出 (c) 積戻し
3. 特定 (特惠・EPA) 原産地証明書
4. RCEP (地域的な包括的経済連携) 協定と仲介貿易
5. 輸出証明書等 (農林水産省等の公文書)
6. インボイス証明
7. サイン (署名) 証明

IV 実践 三国間・仲介貿易

1. 仲介貿易 (T/T 方式) [事例演習]
 - (1) 支払条件 T/T remittance (売/買ともに)
 - (2) 仲介貿易 (T/T 方式) の事例
 - (3) 仲介者の貿易事務手続方針
 - (4) 仲介貿易の運送証券 (B/L 等) とインボイス等の記載内容の違い
 - ①買契約書 ②売契約書 ③インボイス
 - ④スイッチ・インボイス ⑤船荷証券
2. (応用) 仲介貿易の実務的考察
 - (1) 船荷証券 (B/L) 切り換え (スイッチ・B/L)
 - (2) 三国間取引一般契約書の締結
 - (3) 仲介貿易を制限する国
3. (参考) 連続売買貿易 (T/T 方式) [事例演習]
 - (1) 事例
 - (2) 連続売買 (T/T 方式) の図式
 - (3) 書類の作成
 - ①船積み前の準備
 - 1) 買契約書 2) 注文書 3) 売契約書
 - ②荷送人の船積み実行
 - 1) インボイス 2) 船荷証券

VII 三国間取引 (再輸出/積戻し) と連続する原産地証明書

1. 連続する原産地証明書
2. RCEP (地域的な包括的経済連携) 協定への利用
3. 日本 ASEAN 経済共同体包括的 EPA (AJCEP)
4. 中国とアセアン経済共同体 (AEC) との間の自由貿易協定 (ACFTA)

VIII (参考) 安全保障貿易と外為法等

1. はじめに (日本と世界の平和及び安全維持のため)
 2. 日本の安全保障貿易管理
 - (1) 法令等の概要
 - (2) 制度の全体像
 - (3) リスト規制
 - (4) キャッチオール規制
 - (5) 該非判定のやり方
 - (6) 安全保障貿易のための内部審査と出荷の管理
 - (7) その他
- (参考) 「輸出承認制度」